

2025-2026年度国際ロータリーのテーマ



2025-2026年度国際ロータリー第2690地区メッセージ

「UNITE FOR GOOD」
よいことのために手を取りあおう

2025-2026年度岡山北ロータリークラブのスローガン

元気になることをしよう

2025~2026年度 Rotary Club of Okayama North

Rotary 週報

国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ

事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288
E-mail : okayamakita@ok6rc.jp
http://okayama-kita-rc.jp/

例会会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山
例会日 / 毎火曜日 12:30~13:30

理事・役員

2025.7~2026.6

会長	高 島	浩 剛
副会長	上野山	信 義
幹事	砂田	井本
副幹事	砂田	井本
会計	宮岸	三宅
S.A.A.	磯 島	宏 也
副S.A.A.	磯 島	達 浩
		慈 海

会員増強・退会防止(理事)	馬 永	場 山	幸 雅	三 己
広報(理事)	廣 磯	山 野	雅 景	己 治
奉仕プロジェクト(理事)	牧 杉	島 本	芳 太	樹 郎
ロータリー財団(理事)	米 高	山 林	太 榮	洋 真
クラブ3年計画	上野山	橋 茂	樹 剛	
親睦活動				
プログラム				
直前会長(理事)				
次期会長				

モバイルサイトへのアクセスはQRコードをご利用ください。(岡山北RCホームページ)



きょうのプログラム

「イニシエーションスピーチ」

「年男の抱負」

福 井 正 晃 会員
宮 井 宏 会員

次回5月12日のプログラム

「オンライン寄付システムの説明」

坪 井 翔 会員

5月のお祝い行事

会員誕生日：橋田、宮武、難波、武南君
結婚記念日：磯島(慈)、三宅、内座、双田、角南君

前回4月21日の例会記録

出席の状況

会員数 53名(出席免除者0名)
出席者数 31名
欠席者数 22名
出席率 58.49%

ビジター

岡山東ロータリークラブ	平 井	信 也	様
岡山西南ロータリークラブ	上 田	泰 輔	様
岡山丸の内ロータリークラブ	頓 宮	尚 公	様
岡山北西ロータリークラブ	与 田	卓 士	様
小石川ロータリークラブ	谷 一	尚 様	

スケジュール

5月 青少年奉仕月間

5日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
12日(火) 12:30~例会
17日(日) クラブ活性化ワークショップ
(倉敷アイビースクエア)
19日(火) 12:30~例会
26日(火) 会場移動夜間例会

6月 ロータリー親睦活動月間

2日(火) 12:30~例会
13:40~第12回理事役員会
9日(火) 12:30~例会
13日(土)~17日(水) RI国際大会(台湾・台北)
16日(火) 例会取消し(定款第7条第1節)
23日(火) 12:30~例会 退任挨拶①
30日(火) 12:30~例会 退任挨拶②

会長挨拶



本日の例会では、再入会となる福井正晃さんの入会式を執り行いました。福井さん、私たちのクラブへお帰りなさいませ。本日、高橋直前会長の設営により新会員説明会も無事に開催されました。福井さんの豊かなご経験が、当クラブのさらなる力となることを心より歓迎いたします。

また本日は、砂田幹事の同期にあたる幹事の皆様が、激励のために駆けつけてくださいました。同期幹事の辛辣なエピソードを交えた挨拶と心温まるエピソードがギャップを感じて面白かったです。

さて、私は先週よりニューヨークを訪問し、昨日無事に帰国いたしました。妻の妙が「ミセス&ミスター・オブ・ザ・イヤー」USAアワードのアンバサダーを拝命し、その舞台に参加するためです。私自身も会場で妻をエスコートする役割をいただき、貴重な経験をいたしました。今回、初代USAグランプリに輝いた南米コロンビア出身の女性による、渡米時の苦労や世界平和への思いを語ったスピーチは、ロータリーの「平和の推進」にも通じる大変感動的なものでした。

また、統括の西村紗江子様からは、年齢や性別を理由にせず挑戦する女性と、それを支える男性の素晴らしさというアワードの理念を伺いました。これはまさに、私たちがロータリークラブで育てている、互いを尊重し支え合う精神そのものと感銘を受けました。

国境を越えた挑戦と温かいエネルギーを肌で感じたこの旅の経験を、今後のクラブ活動にしっかりと繋げてまいります。本日の例会も、どうぞよろしくお願ひいたします。

幹事報告

1. 米山記念奨学会よりクラブ並びにカウンセラー牧本会員に委嘱状が届いております。
2. 5月の出席確認表を回覧いたしますので、よろしくお願ひいたします。
3. RYLAのセミナー参加のご案内のチラシを配布します。
4. 米山梅吉記念館 館報Vol.47・賛助会ご入会のお願い、コーディネーターNEWS4月号、財団室NEWS4月号、ハイライトよねやまVol.312、Vol.313、他クラブ週報を回覧いたします。



幹事報告

S.A.A.

6RC同期幹事一同：本日は、砂田幹事のご活躍を6RC同期幹事一同で拝見させていただきたく訪問させていただきました。よろしくお願ひいたします。

高島君：福井さんの再入会を祝して。

幹事の皆様、本日は砂田幹事の激励に来訪いただき有難うございます。

上野山君：福井さん、入会おめでとうございます。

砂田君：福井様ご入会ありがとうございます。

同期幹事の皆様、本日はお越しくださりありがとうございます。

宮井君：先日の夜間例会では会場準備に不備があり大変失礼いたしました。親睦活動委員の皆様ありがとうございました。

福井会員の入会を歓迎いたします。

同期幹事の皆様のご来訪を歓迎いたします。

福井君：又、お世話になります。皆様のお名前1回では覚えられませんがあしからず。

福嶋君：福井さんの御入会おめでとうございます。

山本(和)君：先日は済生丸見学に多数参加有難うございました。又、空気清浄機の寄贈感謝致します。

磯島(芳)君：先日、キューティパイでは大変お世話になりました。

廣野君：本年度の奉仕プロジェクト事業を全て無事終了することができました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。



出席報告



スマイル報告



新入会員入会式 福井会員



歓迎の辞を手に挨拶を

岸本君：すみません、早退します。福井様の再入会を歓迎いたします。

6RC幹事会の皆様ようこそお越しいただきました。

永山君：本年度6ロータリー幹事会の皆様、ご来訪ありがとうございます。

誕生日プレゼントありがとうございます。

先週より高田屋が新メニューに変わりました。中山昇陽堂とのコラボ商品も作りましたので、是非ご来店ください。

馬場君：福井さんの入会、大歓迎いたします。

三宅君：福井様の再入会を歓迎致します。5月例会よりクールビズとさせていただきます。



米山奨学生カウンセラー
牧本さんに委嘱状



ポリオ感謝状 高橋直前会長



お祝い行事 吉岡会員



お祝い行事 代表高橋会員



砂田幹事同期一同



岡山北西ロータリー与田様
代表しての御挨拶

2026-27年度クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー

会長部門

次期会長 上野山 剛 会員



4/5（日）倉敷アイビースクエアにおいて開催されたクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー（旧 地区研修・協議会）、角南ガバナー補佐、磯島次期幹事、廣野会員、堀川会員、磯島理恵会員、滝沢会員とともに参加してきましたので報告をさせていただきます。

午前中の本会議においては金谷地区ガバナーエレクトによる基調講演、元国際ロータリー理事佐藤様による特別講演がありました。金谷ガバナーエレクトの基調講演では先月行われたPLESでの講演と同じ内容でしたが、地区目標について前回より詳しく説明をされていました。

2026-27年度の基本方針は「気軽にロータリーを楽しもう」であり、1. 原点に戻る、2. シンプルに、3. 楽しもう、の3つの重要キーワードをお話しされました。

地区目標についてはクラブ優秀賞（26項目の中から13項目以上を達成し、報告）、会員増強・退会防止（純増1名など）、地区ガバナー特別賞（「ポリオ根絶に向けて」の奉仕活動の実施等）、ロータリー財団・米山記念奨学会への支援、国際大会への参加（6/21~6/30 バルセロナに変更）の説明がありました。

地区ガバナー特別賞は狙っていききたいと思います。

特別講演では「次年度クラブリーダーが今日なすべきこと」と題して、講演がありました。内容はロータリー自体が今変革しており、例会頻度、時間、会場・会費、奉仕に特化など運用の柔軟性が求められているようです。

3か年計画においては、地区ガバナーからの要請に従い運営をするのではなく、クラブの活性化を第一に考え、毎年改訂し、何かにチャレンジをして欲しいと言われていました。

RIが2030年までにロータリアン125万人、ローターアクター12万5千人を目標にされていますが、2030年はロータリーが出来て125周年を迎える年だそうです。

午後からは部門別協議会の後、全体会議が行われ、17時に終了いたしました。

部門別協議会では予算承認の他、日程、新会員との懇談会、ガバナー賞等の説明があり、最後に質疑応答で今抱えている問題（衛星クラブの設立や運営方針等）についてファシリテーターや他クラブ会長からの報告がありました。

2026-27年度の地区大会は10/24（土）、10/25（日）倉敷市民会館、倉敷アイビースクエアで開催されるのでぜひ参加してほしいと言われていました。

1日を通して、非常に有意義な研修であり、新年度まで残すところ2か月ちょっとですが、色々と考えて行動していきたいと思いました。



今回の研修では、
「新しい事業への取り組み」
「補助金の活用」
「新しいクラブ設立への協力」という3点が示されました。

ただ正直に申し上げて、最初に聞いたときは、「方向性としては分かるが、具体的に自分たちのクラブでどう動けばいいのかが見えにくい」と感じたのも事実です。

そこで私は、この3つをそのまま受け取るのではなく、自分なりに「自分たちのクラブに置き換えると何なのか」を考えてみました。

まず「新しい事業」についてですが、これは単に新規事業を増やすということではなく、「今の地域にとって本当に意味のあることは何か」を問い直すことだと感じました。例えば、これまでの事業を続けるにしても、目的や対象を見直すことで、新しい価値を生み出せるのではないかと思います。

次に補助金の活用についてです。国際ロータリーの補助金制度は、正直これまであまり身近に感じていませんでしたが、うまく使えば「やりたいけど予算的に難しい」と思っていたことが実現できる可能性があります。つまり、発想次第でクラブの活動の幅を広げるツールになると感じました。

3つ目の新しいクラブの設立については、単に数を増やすという話ではなく、「これまで参加しづらかった人たちにどう関わってもらうか」という視点が重要だと感じました。若い世代や、仕事や家庭の事情で時間が限られている方など、そういった方々が関われる形を考えることが、結果として組織の広がりにつながるのではないかと思います。

そして今回の研修を通じて私が感じたのは、「自分たちのクラブに合わせてどう実行するかを考えること」が求められているという点です。幹事としては、単なる連絡や調整だけでなく、こうしたテーマをクラブの中で共有し、議論や行動につなげていく役割があると感じました。まずは小さくても構いませんので、補助金の活用や、新しい形の事業について、具体的に検討する機会を作っていきたいと思います。

以上で報告とさせていただきます。ありがとうございました。

■ 社会奉仕・職業奉仕部門



パストガバナー本田博己様からロータリーの目的を述べられながら、【提案】としましては、「社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕などと色分けせずに統合的に取り組むべきだ！」と言われました。区別しにくいので仰る通りだと感じました。

ロータリアンであるとは、ひとつの生き方を選択したということ！！

ロータリーの奉仕の理念は自分の生活のなかにあるもの。

ロータリーの奉仕の理念の実践こそが社会のなかで自分を活かす道であり、社会をよい方向へ導く強い力をもっていることを信じよう！！

当クラブの自慢できるところを活かして、今後もロータリアンの皆さまとたくさんの奉仕を実践したいと改めて感じました。

有意義な時間となりました。

■ 国際奉仕・青少年奉仕部門



今回の2部門合同の協議会では、主に地区内クラブの今年度のポリオプラス根絶活動報告がされ、次年度も地区目標として継続してロータリー財団への支援を行っていくことの協議がされました。

また、「第2690地区 地区世界奉仕プロジェクト」への助成金申請について、ロータリー財団の補助金とは別の申請内容であることの説明があり、次年度のカンボジア国際奉仕事業の申請を検討する機会をいただきました。

